



シリーズ

武雄の治水

vol.12

～水と共に生きるまちへ～

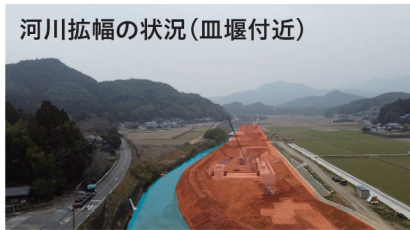
今回のテーマは

松浦川の治水対策

松浦川は山内町青螺山^{せいらざん}を中心に、鳥海川等の支川を合わせながら北流して玄界灘へ注いでいます。河川の断面不足と近年の集中豪雨により、たびたび浸水被害が発生しており、河川改修が進んでいます。

河川拡幅工事と堰の改修

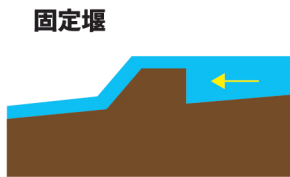
松浦川流域は、平成2年7月豪雨で床上浸水13戸、床下浸水93戸の浸水被害を受けました。浸水被害軽減のため、平成14年から県による河川改修事業が着手されています。下流から整備を進めており、現在は武内町真手野地区にある血堰周辺で河川の拡幅工事とともに、川の流れを阻害している堰の改修が行われています。現在の固定堰を可動堰に改修することで、大雨時には自動で堰が転倒し、河川が流れやすくなります。



← 拡幅 →

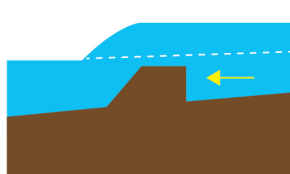
現在の川幅
拡幅部分

平常時



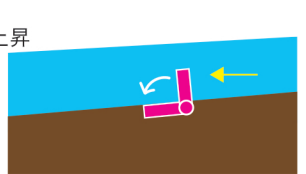
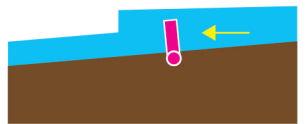
農用水などの取水のために川の水をせき止めている。

大雨時



堰が動かないため水が流れにくく
氾濫が起こりやすい

可動堰



堰が倒れるので
水が流れやすくなる

NEWS

焼米ため池の緊急放流施設工事が進んでいます

北方町の焼米ため池では、大雨前の事前放流や大雨後に速やかにため池の水を放流するための工事が行われています。緊急時に放流するための専用のゲートを整備することで、ため池の洪水貯留容量(空き容量)を確保し、下流の浸水被害を軽減することが目的です。



▲現在工事中の様子



▲完成イメージ

排水ポンプ車を導入しました

内水氾濫を軽減するため、機動力の高い排水ポンプ車2台を導入しました。2台稼働させると25mプール(約540立方メートル)を約20分で空にできる能力を持っています。今後、出水期に向けて、関係機関と協力して排水作業の訓練を行っていきます。

排水能力は
1台あたり毎秒0.25立方メートル



六角川が特定都市河川指定へ

六角川流域の特定都市河川及び特定都市河川流域の指定に向けた手続きが進んでいます。今よりも河川に流れる水を増やさない対策を進め、水害に強いまちづくりを推進します。



詳しくは 企画部 治水対策課 ☎0954-27-7097

シリーズ武雄の治水 バックナンバーはこちらから▶

